

安心・安全な エステティック

健康被害防止対策とサロンの衛生環境の向上

厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)
エステティックの施術による身体への危害についての原因究明及び
衛生管理に関する研究

研究代表者 関東裕美

研究分担者 館田一博 古川福実 山本有紀 吉住あゆみ 鷺崎久美子

目次

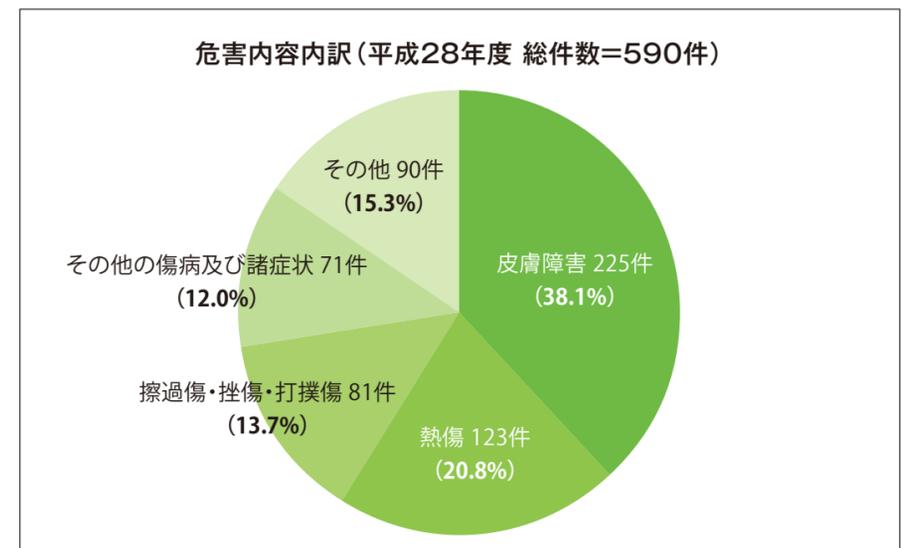
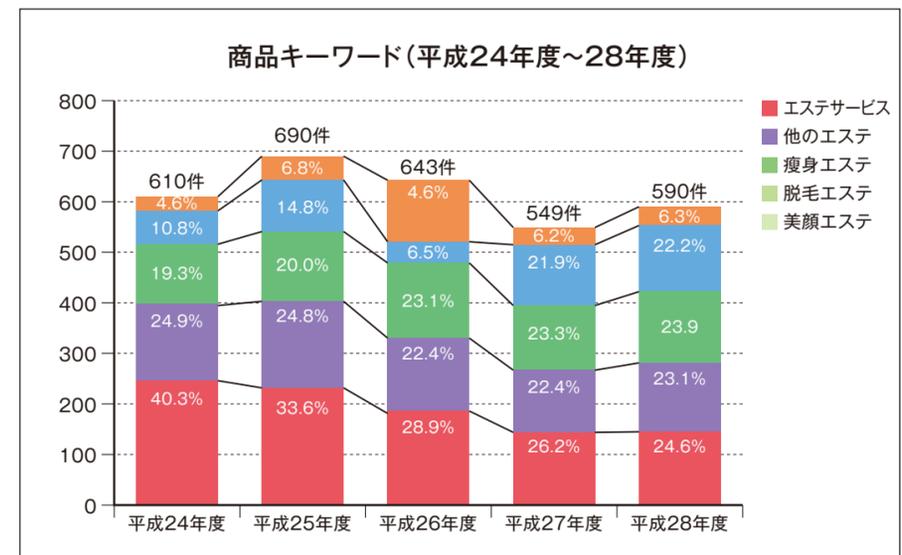
- エステティックの健康被害の実態 1
- 利用者背景の聞き取りの重要性 2
- カウンセリングシート(例)内容解説 4
- エステティックによる健康被害にあわないために 7
- 消費者対象啓発資料
エステティック機器の安全性確保 8
- エステティック営業施設 衛生管理のポイント 10

本書は、厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「エステティックの施術による身体への危害についての原因究明及び衛生管理に関する研究」の研究成果をもとに作成しています。

エステティックの健康被害の実態

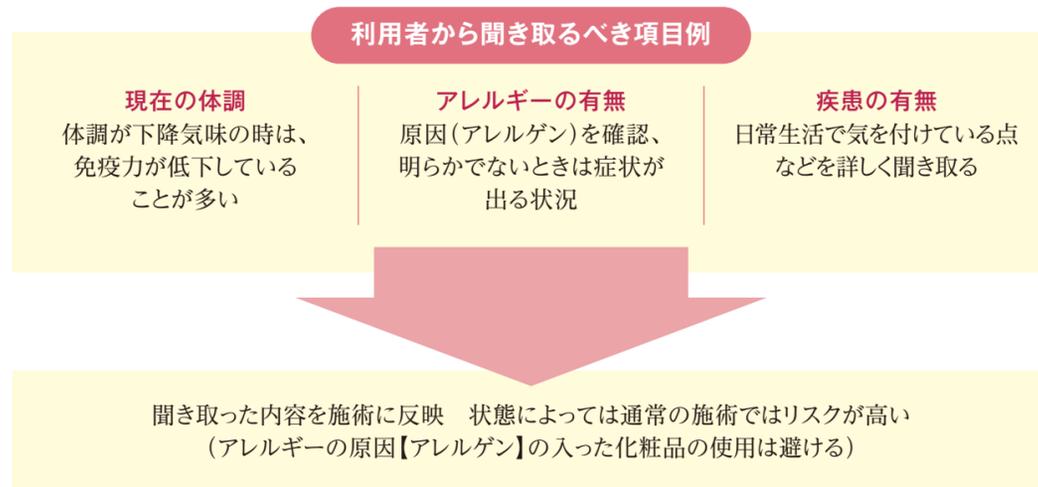
独立行政法人国民生活センターに寄せられる健康被害の相談件数は、毎年600件前後で推移しています。危害の内容は、「皮膚障害」と「熱傷」で約6割を占めています。原因は様々ですが、アトピー性皮膚炎など健康被害のリスクが高い利用者がいることから「皮膚障害」対策として、利用者のリスク要因に合わせて施術を組み立てるため、利用者から聞き取るべき項目を網羅した「カウンセリングシート(例)」を作成、「熱傷」対策では、機器によると思われる例が多いことから、施術で使用する機器類の選び方や使用する際の注意点をまとめました。

独立行政法人国民生活センター PIO-NET (平成24年度～28年度)
「エステティック」カテゴリ 危害相談 集計結果

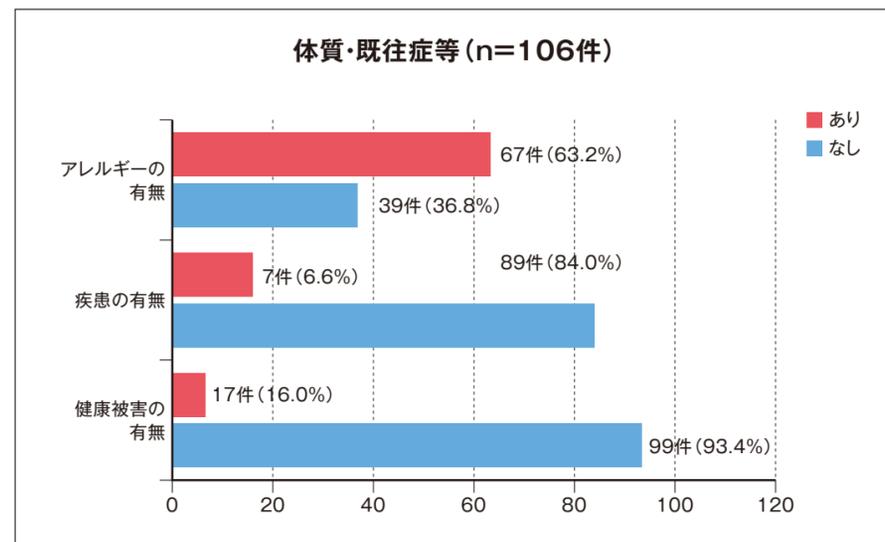


利用者背景の聞き取りの重要性

これまでの厚生労働科学研究費による研究で、エステティック施術による皮膚障害を起こしやすいアトピー性皮膚炎や糖尿病の患者が疾患を技術者に申告せずにエステティックを利用するケースもあることがわかっています。また、通常の体調では問題のない施術でも疲労やストレスが原因で体調が下降気味の時には思わぬ健康被害が起こることもあり、施術前のお客様への聞き取りは健康被害防止のために重要なポイントになります。次ページのカウンセリングシート例を参考にしてください。



以下のグラフは、エステティック利用者背景調査の結果です。何らかのアレルギーを持っている利用者が63%でした。



エステティック施術の安全性向上のためのモデルカウンセリングシート(例)

Q1 あなたの体調などについてお伺いします。

●あなたの皮膚状態についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

| | | |
|---------------------|--------------|-----------------|
| 1 発疹が出やすい | 4 皮膚がかゆい | 7 皮膚がほてりやすい |
| 2 おできや吹き出物・ニキビが出やすい | 5 冬にはあかぎれがある | 8 季節の変わり目に不調になる |
| 3 皮膚がかさかさしやすい | 6 皮膚が冷えやすい | |

●あなたの体調についてあてはまる項目すべてに○をつけてください。

★ ・良好 ・普通 ・不調⇒ ⇒ ・冷え ・肩こり ・胃痛 ・便秘 ・頭痛 ・ほてり
 ・更年期 ・腰痛 ・不眠 ・貧血 ・高血圧 ・息切れ
 ・低血圧 ・めまい その他()

★ 身体疲労 ・ほとんどない ・軽度 ・重度 ★ ストレス ・ほとんどない ・軽度 ・重度

Q2 アレルギーについてお伺いします。

●アレルギーの有無 ・なし ・あり⇒※下記のあてはまる項目全てに○をしてください。

| いつ頃から | 症状(あてはまるものすべてに○) | 現在の状況(あてはまるものすべてに○) | 原因物質 |
|---------------------------|----------------------------------------|---------------------|---------------------------------------|
| 花粉症 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | スギ・ヒノキ・フタクサ その他() |
| 喘息 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | ハウスダスト・ダニ・カビ・ペット その他() |
| アトピー性皮膚炎 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | |
| 蕁麻疹 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | |
| 化粧品 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 香料・色素・パラベン ヘアダイの染料(PPDA) その他() |
| ※化粧品の種類やメーカーが分かればご記入ください。 | | | |
| 金 属 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | ニッケル・コバルト・クロム その他() |
| 光線過敏 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 外因性(香料、湿布薬等) 内因性 |
| 食 物 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 卵・牛乳・大豆・小麦・甲殻類 その他() |
| 薬 物 | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 風邪薬・湿布薬・抗生物質 鎮痛解熱剤・その他() |
| ラテックス | 発疹・発赤・水ぶくれ・かゆみ・せき 鼻水・くしゃみ・痛み・その他() | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | ゴム手袋・輪ゴム その他() |

Q3 慢性疾患についてお伺いします。差し支えない範囲で回答をお願いします。

●疾患の有無 ・なし ・あり⇒※下記のあてはまる項目全てに○をしてください。

| いつ頃から | 症状の自己評価 | 現在の状況 | 疾患による日常生活への影響 |
|-------|-----------|--------------------|--------------------|
| 糖尿病 | 重症・中等症・軽症 | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 大・中・小・なし ※内容() |
| 高血圧 | 重症・中等症・軽症 | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 大・中・小・なし ※内容() |
| 心臓病 | 重症・中等症・軽症 | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 大・中・小・なし ※内容() |
| 悪性腫瘍 | 重症・中等症・軽症 | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 大・中・小・なし ※内容() |
| リンパ浮腫 | 重症・中等症・軽症 | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 大・中・小・なし ※内容() |
| 膠原病 | 重症・中等症・軽症 | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 大・中・小・なし ※内容() |
| 更年期障害 | 重症・中等症・軽症 | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 大・中・小・なし ※内容() |
| 精神疾患 | 重症・中等症・軽症 | 投薬・通院・入院 完治・無治療 | 大・中・小・なし ※内容() |

Q4 過去エステティックの施術で健康被害を受けたことがありますか？

●健康被害の有無 ・なし ・あり⇒※下記のあてはまる項目全てに○をしてください。

| いつ頃 | 被害の程度 | 機器使用の有無 | 原因となった施術 |
|--------------|-----------------------------------------|---------|------------------------------|
| かぶれ | 治療1週間未満 治療3週間～1ヶ月 治療1ヶ月以上 治療せず | 有 無 | フェイシャル・脱毛 ・ボディ ・その他() |
| やけど | 治療1週間未満 治療3週間～1ヶ月 治療1ヶ月以上 治療せず | 有 無 | フェイシャル・脱毛 ・ボディ ・その他() |
| 擦過傷・打撲 痛等 | 治療1週間未満 治療3週間～1ヶ月 治療1ヶ月以上 治療せず | 有 無 | フェイシャル・脱毛 ・ボディ ・その他() |

カウンセリングシート(例)内容解説

カウンセリングシート(例)で聞き取る内容について解説と施術を行う際に注意する事項をまとめました。

1. お客様の皮膚の状態について

普段の皮膚状態について以下の項目を聞き取ります。1・2・4の項目にチェックがついた場合、どのよう
なときに発現するかなどを詳しく聞き取り、施術する際に同様の行為は避けるようにしましょう。

| | | | |
|--------------|---------------------|---------------|-----------------|
| 1 発疹が出やすい | 2 おできや吹き出物・ニキビが出やすい | 3 皮膚がかさかさしやすい | 4 皮膚がかゆい |
| 5 冬にはあかざれがある | 6 皮膚が冷えやすい | 7 皮膚がほてりやすい | 8 季節の変わり目に不調になる |

2. お客様の体調について

疲労やストレスは、身体がだるい、重いなどの倦怠感、気分の落ち込み、集中力の低下や眠気等の症状
が出やすく、ひどくなると免疫力が低下し、疲労がないときに比べ細菌やウイルスに感染しやすくなります。
疲労やストレスが重度のお客様には無理して通常通りの施術をしないようにしましょう。もちろんこれらは
毎回施術前に確認します。

| | | | | | | | |
|------|---------|-----|-----|------|---------|-----|-----|
| 身体疲労 | ・ほとんどない | ・軽度 | ・重度 | ストレス | ・ほとんどない | ・軽度 | ・重度 |
|------|---------|-----|-----|------|---------|-----|-----|

3. アレルギーの有無について

本来免疫反応は、細菌やウイルスなどの異物が体内に侵入することを防ぐ反応ですが、ハウスダストや
ダニ、花粉、小麦など様々なもの(アレルゲン)に対して過剰に反応することでアレルギーが起こります。対
処法は、アレルゲンと接触しないことです。アレルギーを持つお客様にエステティック施術を行うにあたり、
お客様が「ひりひり感」「痛み」「かゆみ」など違和感を訴えた時にはすぐに施術を中止し、冷やしましょう。

以下は、代表的なアレルギーについて施術上の注意点を解説しています。アレルギーの方は、普通のお客様
より反応が出やすいので注意してください。

◆花粉症

花粉症の方は、鼻のかみ過ぎ、眼のこすり過ぎ、マスクなどの摩擦行為により皮膚バリア機能低下状態にあるので、
花粉が皮膚に接触して皮膚炎を起こしてしまうことがあり、花粉症皮膚炎と診断されます。化粧のせい…かと思って
化粧をやめてしまうと、むしろ悪化してしまう方も多いため化粧かぶれなのか花粉症によるかぶれなのかを、見極める
必要があります。難しい場合は、是非、専門医受診を勧めるようにしましょう。赤みやかさつきが酷い場合、通常
の施術では刺激が強すぎてかぶれが助長してしまうこともあるので、お客様の様子を注意深く観察して確認をしな
がら刺激がないような施術だけをしてあげましょう。「リラックスを心がける」という方が良いでしょう。

◆喘息

喘息は、アレルゲンが特定されているものとされていないものに分けられ、アレルゲンが特定されている場合はその
原因物質との接触しないように配慮しましょう。

治療していて問題がない人は通常の施術で大丈夫ですが、例えば、症状が出ていなくても、その姿勢や圧力によっ
ては、思いがけない喘息発作を誘発することもあるので、特に仰臥位(仰向けに寝る)は、苦しくなってしまうことがあり
ます。お客様から楽な姿勢を聞いて、発作の誘発がないようよく話し合い、姿勢に気を付けてあげる必要があります。

◆アトピー性皮膚炎

ご自身に花粉症、喘息、蕁麻疹などがあり、あるいは血縁のある家族にもあり、冬の乾燥に弱いような方は、アトピー
性皮膚炎と診断されていなくても、アトピー性皮膚炎の発症リスクが高いとご自分でいただく必要がありますから、
きちんと問診をとることがとても重要です。冬場の口唇のかさつきが酷い方、目尻、あるいは、耳が切れやすい方、
手指先にはあかざれを起こすような方たちは、アトピー性皮膚炎の部分症状のことがあります。ご本人が、自分だけ

はアトピー性皮膚炎ではないと思っている場合もあるようですから、きちんと問診を行って、その人の皮膚のリスク
度合いを見極めて施術をする必要があります。

当然、冬場は皮膚バリア機能が落ちている状態なので、さらに擦る、マッサージということで、使う洗浄製品や化粧
品類による刺激を誘導しやすくなってしまいますことがあります。特別アトピー性皮膚炎だから香料が使えないアレル
ギー性のかぶれが起こりやすいというわけでは決してありませんけれども、過敏に感じる状況があります。敏感肌と
いう本人の認識がない人ほどクレームになってしまうようなことがあるかもしれません。お客様と注意深く会話をしな
がら確認を取りながら、皮膚状況を観察しながら、無理のない施術をするということが望まれます。
症状が落ち着いていれば皮膚に対する刺激が弱いものを選択して、お互いによく話をしながら、施術内容を決めて
いきましょう。疾患治療中の方、生理前後、あるいは産後の具合、更年期の具合、ハイリスクの人には、何を求めて
いて、何を提供してあげれば良いかということを考える必要があります。

◆蕁麻疹

蕁麻疹というのは、虫に刺されたように赤く膨れて数時間以内に消えてしまうものです。2か月、3か月とかゆい発疹が
出るとは消え、出るとは消えを繰り返しているのは慢性蕁麻疹と診断されます。原因は食事以外にも様々で、温熱蕁麻疹、
寒冷蕁麻疹、物理的な擦る事によって起こる人工蕁麻疹などがあります。それから発汗による蕁麻疹は、普通の蕁麻
疹より毛穴に一致した小さいブツブツした小紅斑がでできます。また、もちろん薬剤、塗り薬で接触蕁麻疹が起こる
こともあります。蕁麻疹の方は、治療しているかどうかがとても大事で、抗ヒスタミン薬を飲んで安定している方は、
通常の施術も問題ないケースが多いでしょう。一方、蕁麻疹体質があるかどうかを確認した上で施術による温熱刺激、
摩擦刺激で蕁麻疹が誘発される可能性があることをあらかじめお伝えをして、反応が出るようだったら早めにやめる
という対策を施術前にお互いに理解し合っははじめるというのが良いと思います。治療していない人はより多く症状
が出る可能性があるため、毎晩、蕁麻疹が出るという人はとりあえず施術することによって、より強い反応が出るかも
しれません。蕁麻疹体質でこのところ蕁麻疹が夜になると毎晩出てしまうという方は、施術により、より強く誘発され
てしまいますから、治療をおすすめして、医師の許可を頂いてというふうにお話されたほうが良いように思います。

◆化粧品

「化粧品のかぶれがある」という訴えがあるお客様には原因について聞いておく必要があります。化粧品の中で香料、
防腐剤などかぶれる原因成分が分かっている場合は、その情報を意識して施術しなければいけません。化粧品かぶれ
を起こしやすいと訴えるお客様には、施術で使用する製品を確認してもらい具体的にこれをして欲しい、あれをして欲
しいという施術内容の相談をしながら決めていくことが大事かもしれません。何にかぶれているのか、今は問題がないの
か、例えば、こういう香料が入っているものを使います。防腐剤が入っているものを使います。ということをあらかじめ説
明して、それが大丈夫かどうかという確認をしたという記録を残しておく必要があります。

◆金属

金属製品が汗に触れその成分が溶け出し金属イオンになります。この金属イオンが皮膚に浸透しアレルギーを起こすこ
とがあります。これは、重症度によるので、金属アレルギーだから顔の施術をしてはいけなというではありません。むしろ
手技によるマッサージではあまり問題はなく、美容機器の一部が金属製であったり、電流を流したりという施術による反
応、発汗させる行為も重なりますから痒い反応が出てしまうかもしれませんのでトラブルになる可能性があると考えます。

◆食物

自然化粧品への安全嗜好によるものかオーガニック化粧品といわれて蜂蜜や木の実類、大豆や小麦など食品が含
まれている製品が好まれて使われているようです。食物アレルギーを持っている場合にはその食物成分が皮膚から
吸収されることで皮膚症状が出る場合があります。アトピー素因のあるエステシャンが、手荒れ、皮膚症状の悪化
から豆乳の入った化粧品で大豆アレルギーになったという事例がありました。皮膚に塗るものと口から入るものは関係
ないと思わずに、食物アレルギーの確認を怠ってはいけません。食べる物が化粧品中に含まれているということはよく
ありますので、自分がこれから施術をしようと思う化粧品に入っている成分でアレルギーの訴えが無いことを確認し
てください。たとえばナッツのアレルギーがある場合には、マッサージ用オイルなどにも注意が必要です。ナッツ、大豆、
小麦、蜂蜜(ローヤルゼリー)、うこんなどによる接触蕁麻疹からショックを起こすこともありますので注意が必要です。

◆薬物

エステティックでは、薬を使うことはありませんのでさほど重要視しなくて大丈夫です。ただし、湿布でかぶれる人な
どは、メントールなどが原因のことが多いですので注意が必要です。

◆ラテックス

ラテックスアレルギーは、天然ゴムの入った手袋などで時に重い症状が出ます。最近の使い捨て手袋ではラテックスが入ってないものが増えてきています。ラテックスアレルギーのお客様を施術する場合、施術に使用する器具類に天然ゴムが含まれていないかどうか確認してから使いましょう。

4. 慢性疾患の有無について

超高齢化社会となった日本では、65歳以上が25%を超えています。さらに65歳以上の約7割が通院している(厚生労働省)ことから慢性疾患のお客様が来店する可能性が増えてくることが予想されます。慢性疾患のお客様への施術の注意点は、重症度によって変わります。日常生活で気を付けている点など詳しく聞き取り施術を組み立てていきましょう。主治医からの注意事項があるときは、厳守するようにしましょう。

◆糖尿病

糖尿病と申告があった時は、施術時の状態をよく聞き取る、脚のむくみ、傷、感染のチェック(足底、趾間などにジュークした傷が無ければ大丈夫です。)が必要です。そのうえでお客様とよく相談して施術の組み立てを行うことで安全な施術の提供ができます。四肢末端の末梢神経障害で感覚が分からない人もいますので注意してください。

◆高血圧 心臓病

急激な温度変化があるとリスクが高まります。サウナなど温度上昇がある施術には注意が必要です。また、血流改善の薬を服用していると、マッサージの力で皮下出血がおこりやすくなります。

◆悪性腫瘍

悪性腫瘍でエステティックに行ってもいいよと主治医から許可をされている人は、何をどうしていいかということを中心に施術前に問診をして、足だけのマッサージなり、顔のマッサージなり、リラクゼーションを心がけましょう。特に抗がん剤治療を受けている人は主治医のOKをもらいましょう。

◆リンパ浮腫

リンパ浮腫は、抹消循環障害、静脈瘤、悪性腫瘍の手術に伴うリンパ節切除の後遺症が原因の場合が多いようです。浮腫の病態により異なりますが、傷がなければお客様の気持ちが良い程度の強さでの施術は問題ありません。加圧が強いことにより傷をつけてしまうのは厳禁です。

◆膠原病

膠原病治療を受けているような場合は治療薬の種類あるいは、どのぐらい長く飲んできたかにより皮膚の委縮状態、出血の状態というのが、千差万別になってきます。多くの場合ステロイド・免疫抑制薬両方で治療されている可能性があるため、外圧のかけ方についてお客様と相談して下さい。薄い皮膚でペロンとむけることや出血することがあるかもしれません。実際の年齢よりも弱い皮膚の可能性があるので、施術の力を加減しないといけません。

◆精神疾患

エステティシャンと会話をして楽になることを求めているお客様と捉えていただいて、気持ちの良い空間・施術をこころがければ良いでしょう。こちらから施術提案をしない方が良い人たちです。何をされに来たか、何をしたいのかということをしっかりとお話してあげるのが良いでしょう。お客様の提案に逆らわない、決めたコースを勧めないがキーワードです。

◆更年期障害

心身の不安定な状況で、顔はほてり、手足は冷えて困る人が多いようです。症状に合わせて、気持ちの良い時間・空間の提供をするように心がけて下さい。香りを好むか好まれないか、顔のクーリングが必要な場合もあるし、手足のマッサージで血流改善を図るのも良いでしょう。心身の癒しが最も必要なお客様層と捉えていただいて、要望を聞きながら施術を組み立てましょう。

5. 過去エステティック施術での健康被害の経験

国民生活センターのデータによると毎年約600件の健康被害が報告されており、来店されたお客様も健康被害の経験があるかもしれません。詳しく状況を聞き取り、同じような被害が起きないように注意して施術を行いましょ。

エステティックによる健康被害にあわないために

1. すぐに効果が出ると思っはいけません

エステティックは、医療機関ではないのでゆるやかな効果が基本です。急激な効果は求めないようにしましょう。

2. 自分の体調・体質は正直に申告しましょう。

エステティックの施術は、化粧品や機器などを使用して皮膚に刺激を与えます。人間は、疾患はもちろんのこと疲れていたり睡眠不足の際免疫力が低下し、普段大丈夫な施術でも健康被害が起こることがあります。自分の体調を正直に技術者に申告してから施術を受けるようにしましょう。下記の写真は、エステティックサロンでピキニラインの脱毛を行った方ですが、細かい傷から細菌が侵入し蜂窩織炎を発症した事例です。



3. 施術中違和感を感じたらすぐ申し出ましょう。

多少痛かったり、熱かったりすることがあった時に、我慢すると健康被害につながる可能性が高くなります。痛くなくとも違和感は危険信号と考えてすぐに技術者に申し出ましょう。

4. 健康被害が出てしまったら

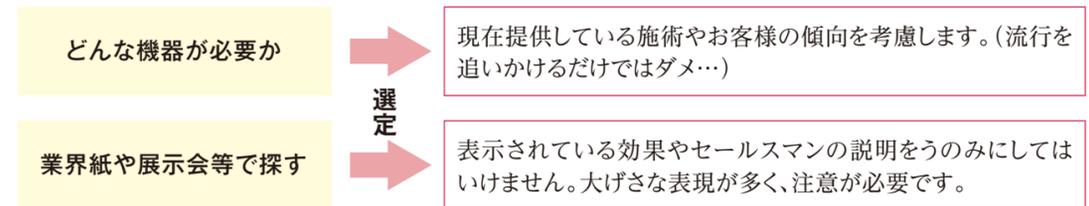
どのような施術を受けてどのような症状が出たかを記録しましょう。症状が酷い場合すぐに医療機関を受診しましょう。

エステティック機器の安全性確保

年間約600件のエステティックによる健康被害のうち約3分の1(平成29年度国民生活センター189件)が機器によるものと推定されています。平成27年度～平成29年度厚生労働科学研究では、エステティックで使用されている、美容ライト脱毛機器、ヒートマット機器、RF機器、超音波機器について安全性を検討しました。その結果、通常の使用方法では安全に施術できることがわかりました。しかし、間違っただけの使い方したり、お客様の要望で出力を上げすぎたりすると健康被害が起こる可能性が高いと思われました。また、お客様のコンディション(疲労感が強い、痛み上がりなど)により通常の使用方法で施術を行っても健康被害が起こることがありますので、施術前聞き取り調査の重要性を指導していく必要があると改めて考えています。以上を踏まえて機器導入時の指導要領を作成しました。

さらにエステティックで使用される機器には、医療機器のような規制がありませんので機器を購入するときには、次の注意事項を踏まえ、安全な施術を目指しましょう。

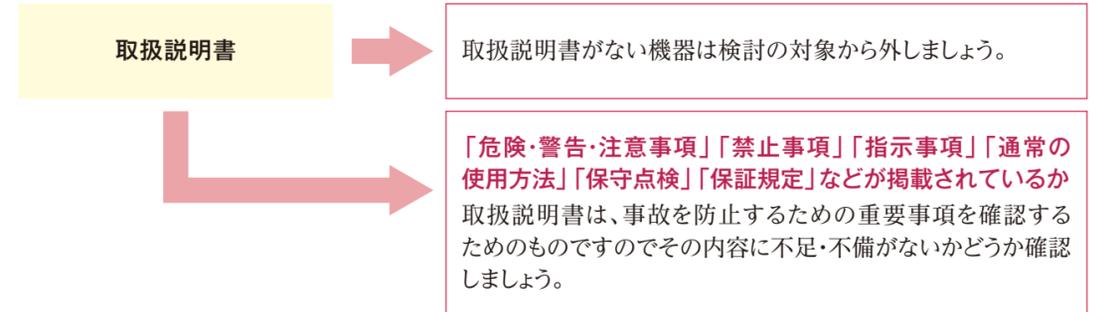
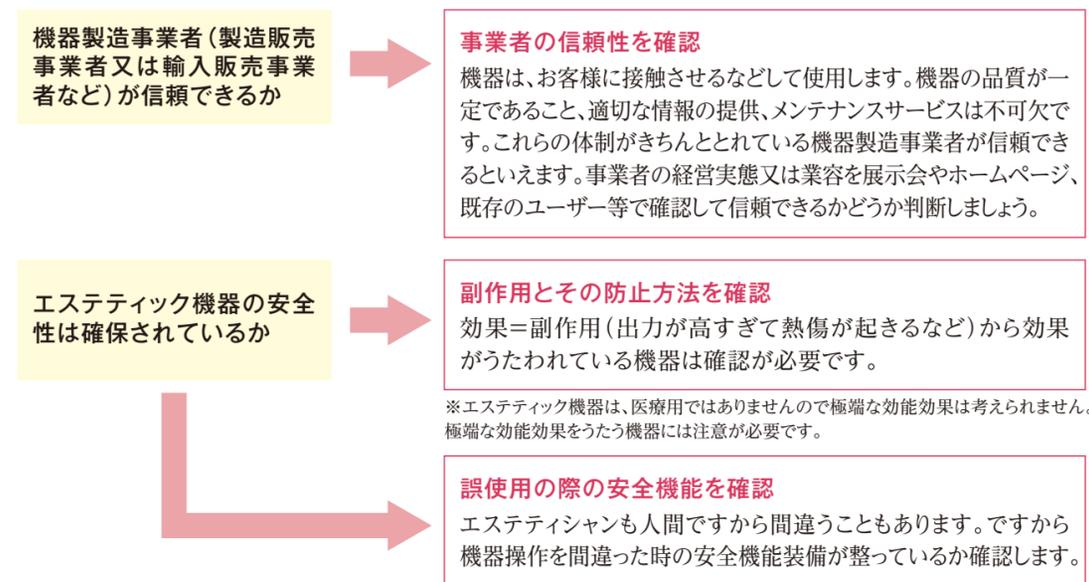
エステティック機器導入時注意事項



※エステティックサロンが消費者向けに広告するときには、景品表示法などの規制がありますが、いわゆるBtoB(企業が企業を対象とする取引)ではその規制はありませんので、大げさな表現が多くみられ、第三者や既存のユーザー等に確認が必要です。

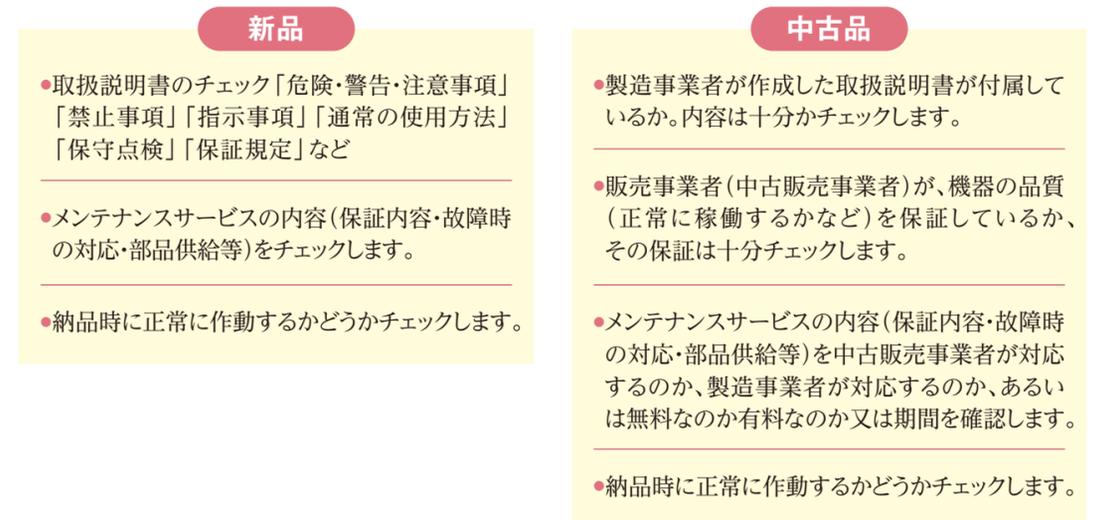
●検討

機器の購入を検討するときは、まず、機器の安全性・操作性・性能・品質・保守などをチェックすると思いますが、そのほかに次の事項についてもチェックしましょう。

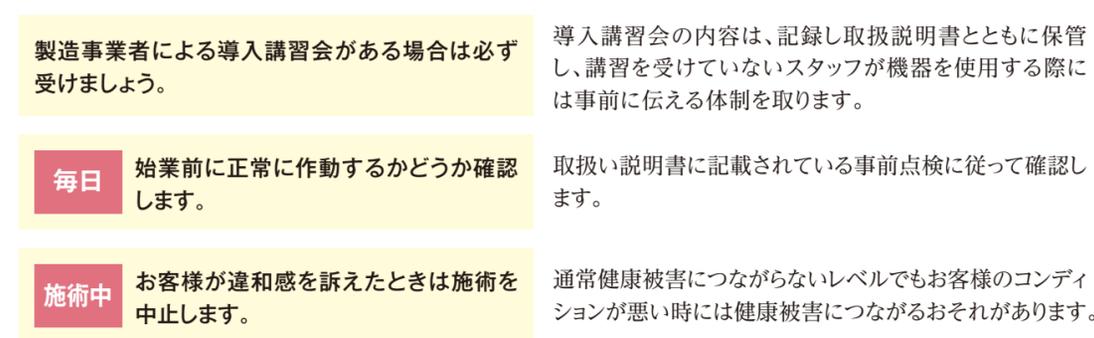


●購入

実際に機器類を購入する場合の注意事項です。(納品や支払い条件などを除く)



●使用



エステティック営業施設 衛生管理のポイント

エステティック営業施設における衛生管理は、細菌やウイルスなど(細菌類)を外から持ち込まないこと、持ち込まれた細菌類を速やかに除去または退治することです。サロンは、人の出入りが多く細菌類が持ち込まれますので衛生管理(持ち込まれた細菌類を速やかに除去または退治する)が必要です。細菌類は非常に小さく肉眼では確認できませんので、一見きれいに見えても細菌類が検出されることがあります。ですから、清潔そうに見えても決められた手順で行うことが大切です。

●衛生管理の手順や方法を定める

一番簡単な衛生管理は、お客様の皮膚に接するタオルや器具類すべてを使い捨てにすることですが、使用感やコスト面で現実的ではありませんので、一度使用したタオルや器具類はきちんと洗浄し、消毒します。環境面では、手すりやドアノブのような素手でよく触るところは特にきれいにする必要があります。これらのことを毎日もれなく実行するためには以下の体制を整えることが重要です。

| | |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 衛生管理責任者を定める | 衛生管理責任者の主な役割 ・衛生管理が適切に実行されるよう監督する。 ・従業員の健康状態を常に把握し感染症のおそれがあるときは施術を行わせない。など |
| 衛生管理マニュアルを作成する | 衛生管理マニュアルの内容(施設設備や施術内容に応じて作成する。) ・清掃のタイミングや手順 ・施術室内の管理方法(顧客入れ替わりの際の清掃等) ・使用済みタオルや器具類の保管方法及び洗浄、消毒の方法 ・消毒済みタオルや器具類の保管方法 など |
| 衛生管理チェックシートを作成する | 衛生管理チェックシートの内容(毎日の漏れなく実施し、記録するためことを目的に作成する。) ・従業員の健康状態(手指の傷、下痢、発熱等) ・清掃すべき場所(ドアノブなど人が良く触るところ、水回り設備等) ・使用済み器具等の洗浄消毒 など |

●清掃

清掃は、サロンを清潔に保つことを目的に行いますが、同時に外から侵入した細菌類の除去にも役立ちます。

| | |
|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ★入口・待合室・廊下など | ★施術室・更衣室など |
| ごみを除去し汚れをふき取ります。このとき、ドアノブや手すりなど人が良く触るところはきれいに拭き取ります。 | ごみを除去し汚れをふき取ります。特にベッド回りの床にこぼれた化粧品などの汚れに注意します。このとき、ドアノブや手すりなど人が良く触るところはきれいに拭き取ります。ベッドのヘッドレストや機器類のスイッチなどは消毒液で拭き取ります。 |
| ★手洗い設備・入浴施設・トイレ | |
| ごみを除去し汚れをふき取ります。水まわりは、水滴が落ちやすいのでこまめに拭き取ります。トイレは、細菌類が多くなりがちですので1日数回清掃します。 | |

●洗浄・消毒

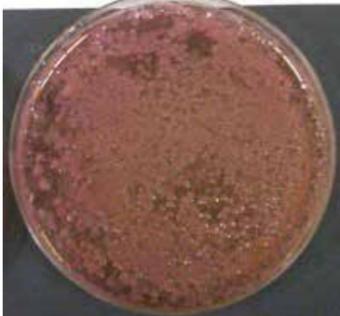
お客様の皮膚に直接触れるものは基本的にお客様一人ずつ洗浄、材質にあった適切な消毒が必要です。洗浄できないものは、エタノールなどで拭き取ります。使用済みのものは、他のお客様の再度使用してしまわないように使用済み専用の容器を用意します。

| お客様の皮膚に接する器具類 | |
|-----------------------------------|------------------------------------------|
| タオル・機器のアタッチメント・スポンジパフ・洗顔ブラシ・ハケ など | 洗浄・消毒の終わった、タオル・器具類は、扉付きの棚又は蓋つきの容器に保管します。 |

●水回りは細菌類の天国!

サロンの水回りから、細菌類が検出され、それらがサロンの施術室等他の部分に広がっている事例がありました。

| 原因 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 細菌類の繁殖は、水分が必要です。水回りを濡れたままにすると細菌類が繁殖します。写真は、水道のハンドル部分ですが、細菌類が繁殖している水回りを手で触ってそのままハンドルを触ったか水回りを掃除した雑巾を消毒しないまま掃除し塗り広げてしまったことが考えられます。 |
| 対策 |
| 水回りは、水が飛び散りやすく雑巾もしくはペーパータオルを使用し、こまめに水分を拭き取り、乾燥させた状態を維持しましょう。 |

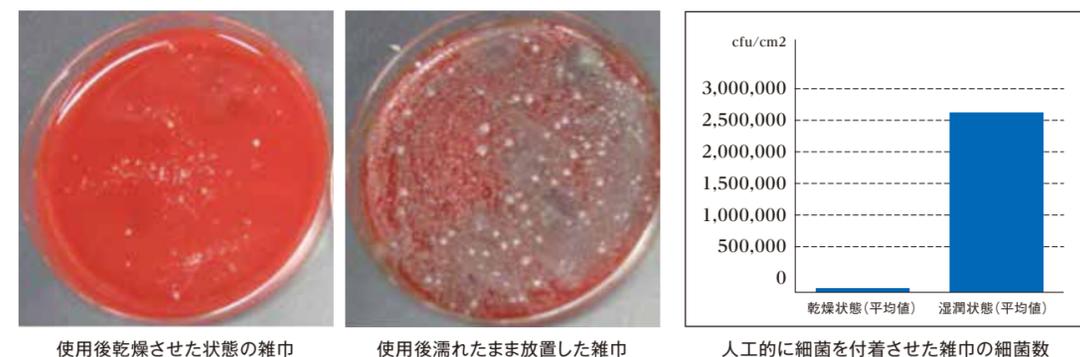


水道のハンドル部分 ぶき取り調査



●使用後の雑巾は消毒、乾燥を!!

使用後の雑巾は、きちんと消毒乾燥させることが大事です。使ったまま放置した雑巾、特に濡れたままでは、かなりの数の細菌類が繁殖します。翌日そのまま掃除をすると掃除した部分が汚染されます。人工的に細菌を付着させた雑巾では、乾燥状態に比べ濡れたまま放置した雑巾は、細菌数が10,000倍から100,000倍に増えていました。



雑巾使用の問題点

- 1) 生地を重ねて縫製されているという構造上、厚みのある雑巾ほど入り込んだ病原体を除去しにくい。
- 2) 病原体を含んだ雑巾は清掃時にバケツなどで十分にすすいでも病原体を除去することができない。
- 3) このことから病原体が増殖している可能性がある乾燥不十分な雑巾を再使用する場合、最初に使用する場所を病原体で汚染してしまうという問題点がある。

(大澤 忠:看護技術2013-12 :59(14) p1522-1524)



改善策

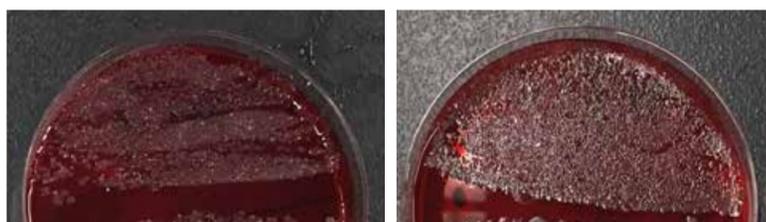
1. 清掃に雑巾を使用することで生じる環境汚染を予防する策
 - 1) 清掃時に雑巾を使い分ける
 - 2) 使用後の雑巾の管理(洗濯・消毒・乾燥)
 - 3) 雑巾を使用せず、単回使用の清掃用品を導入する。(大澤 忠:看護技術2013-12 :59(14) p1522-1524)
2. 使用後洗浄した雑巾をよく乾かすこと、もしくは可能であればディスポーザブルの紙雑巾の使用が望まれる。(米国CDC:ヘルスケア施設の環境感染コントロールガイドライン)

●意外と汚いスチームタオル(ホットタオル)

6施設中5施設より使用前のスチームタオルから多くの細菌が検出されました。同時に検査した保温庫(ホットキャビ等)の内部からは細菌類の検出はありませんでした。



スチームタオルサンプルサイズ



使用前のスチームタオルから検出された細菌類

そのうち高温に耐える芽胞形成菌であるBacillus属の菌が検出された。Bacillus cereusは術後における傷口感染、敗血症の原因にもなります。

原因

洗浄や乾燥が十分でないことが考えられます。

対策

使い捨てハンドタオルもしくは滅菌後の使用が望ましい。洗濯を行う際は消毒薬と一緒に入れ、洗濯後は速やかに乾燥させるなどで改善されます。

●感染症の発生動向を把握しましょう!

サロンの中で感染症の蔓延を防止するためには、世間で流行している感染症の傾向を把握し、対応策を講じる必要があります。

インフルエンザなど「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」によって届出が義務付けられている感染症は、国立感染症研究所のHP(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/>)で確認できます。インフルエンザの地域別流行やノロウイルスの発生状況など注意すべき感染症について常に把握し、準備するようにしましょう。

